



こんにちは、久世児童館です。子育てについてお困りのことや対応の仕方などのご質問をお寄せください。当児童館がでんしょばとになり、専門の方（子育てアドバイザー、保健師、保育士など）にお聞きし、その答えをまとめ、おたよりに掲載して皆さまにお伝えします。ご質問のある方は、HPのPDF、館内にあります質問用紙にご記入の上、館内外ポストまたはFAXでお寄せください。（お電話・メールでの相談は受け付けておりません）

★ご相談内容★★こうなっしてほしい ☆☆☆回答、アドバイス

（母より0歳10ヵ月男児について）

★何をするのも抱っこをしていないと泣くので、家事がはかどらない

★★もう少し一人あそびをしてほしい



☆後追いの時期は大変です。しかし大切なことで、この時期に十分にお母さんとひっつくことが、後の自立につながっていきます。離れてほしいと思えば思うほど追いかけてこられる……。逆の発想ですと一緒家事ができる方法を考えるのはどうでしょう。料理をするときは台所に、洗濯物を干すときはベランダ近くに一緒に行く。もちろん、やけどやケガ、転落などのないよう安全確保してください。そして、場所によって、お子さんが自由に遊んでもよいコップやお玉、カゴや洗濯ばさみを用意しておきます。お母さんの顔が見え、真似っこが出来て楽しいかもしれません。それを毎日続けていると、お母さんの行動を覚え、離れていても、今~しているんだなあ安心して離れて待っていることが出来るようになるかもしれません。他には、ひつつきながら両手が空いて用事のできるおんぶはどうでしょう？抱っこベルトではなく、お母さんの肩よりお子さんの頭が出る、高い位置でおんぶのできる、昔ながらの**おんぶ紐**がおすすめです。お互いの温もりを感じ、おふたりの体にも負担が少なく、お母さんのしていることを見て学べるなど利点がたくさんあります。

☆☆遊びは、はじめに一緒に遊ぶことから楽しみやルールを覚え、自分でもひとりでやってみよう。となります。ベランダ近くで洗濯ばさみをかごの中に入れてたり出したりされていたら、それも立派なひとり遊びですよ。（子育てアドバイザー）

☆☆☆10ヶ月頃から1歳くらいまで甘えたい、ひとりで置かれている、抱っこして欲しいといった対人的な理由と考えられる泣きが増えていきます。この時期は他者とお母さんをはっきり認識しだし母子分離を感じて不安になってしまう時期です。赤ちゃんずっと一緒にいてあげたい気持ちはあっても、家事や育児などやるのがいっぱい生活ではとてもじゃないけど無理ですよね。常に抱っこやおんぶであやし続けるのは、体力的な面でもつらいでしょう。無理のない範囲で赤ちゃんが泣いたら抱っこであやしあげるのが基本としつつも、毎回抱き上げる必要はありません。まだ自由に動けない赤ちゃんは、全身を使って泣くことで運動しているもので、成長のためにもたまには泣かせておく時間があっても大丈夫です。その際「今〇〇ちゃんのまんま作ってるからね。ちょっと待っててね~」など、赤ちゃんの気持ちに寄り添った声掛けをして今の状況を説明しながらママやパパの声を聞かせてあげてくださいね。

生後10か月の赤ちゃんは言葉の理解がだんだんできてくる時期です。言葉の理解を促していく好機と捉えて抱っこかわりに赤ちゃんに積極的に話しかけて手を振りながらバイバイと言ったり、タッチと言いながら手や足を触ったり、待っててね握手をしたりして、抱っこ以外のコミュニケーションをする事もおすすめです。無理せずご自身のお体も大事にしてくださいね。（保健師）